

## 投稿規定

制 定：1980年5月13日

最終改定：2018年2月13日

1. 本誌の名称は「中京大学体育学論叢」とする。
2. 本誌は、中京大学スポーツ科学部が編集・発行するものとして、1年に1巻を発行する。
3. 内容は体育学、健康科学、スポーツ科学などの領域に関するもので、原稿の種別は総説、論文、研究報告、研究資料などとする。
4. 投稿有資格者は体育学、健康科学、スポーツ科学などの領域における研究者、指導者、学生とする。
5. 原稿は、中京大学研究倫理規程と中京大学における人を対象とする研究に関する倫理規程に準じたものとする。
6. 原稿の掲載は審査に附す。なお審査委員の選定は編集委員会によるものとする。
7. 原稿掲載可否と原稿種別の最終決定および編集事務は編集委員会が行う。
8. 原稿は横書きとし、その分量は図表や抄録なども含め原則として1ページあたり1000字で30枚以内とする。
9. 引用文献は原則として本文の最後に一括するものとし、その引用の書式は別に定める。
10. 和文の総説および論文には欧文の題目、著者名（ローマ字）、および250語程度の欧文抄録を添える。欧文の総説および論文には和文の題目、著者名、および800字程度の和文抄録を添える。
11. 図や表には通し番号とタイトルをつけ、本文とは別に番号順に一括する。図表の挿入箇所は、本文中に明瞭に指示する。
12. 別刷は1篇につき50部以内を著者に進呈し、それ以上は自己負担とする。

## 「中京大学体育学論叢」投稿者へのお願い (原稿作成にあたっての技術的要領)

編集作業に要する時間の短縮と手間の節減のため、また無用な間違いを減らすためにも、下記のような点に注意され原稿の作成・提出をお願いします。

- ① 投稿は原則として電子ファイルによるものとし、プリントアウトした原稿とともに記録メディアなどを提出してください。使用したアプリケーション名を明記してください。電子メール添付などで投稿される場合にも確認のため別にプリントアウトしたものを提出してください。
- ② 原稿の最初には、原稿種別、タイトル、欧文タイトル、著者名、その欧文表記、著者の所属を明記してください。異なる数の\*を用いて区別することにより、著者名とその所属の間に混乱が起きないようにしてください。以後の編集作業に必要なため著者の連絡先も明記ください。本文投稿にはページ数や行番号を入れ、原稿の順序の混乱が起らないようにしてください。
- ③ 図表や写真は明瞭なもので、原則としてそのまま印刷・掲載することが可能であるものとします。その挿入箇所は本文原稿の中に明瞭に指示してください。図・表および写真の電子ファイルも提出してください。
- ④ 欧文抄録は原則として英文とします。専門家の校閲を受ける予定ですが、ご自身でもなるべく注意深く作成・推敲してください。なお確認のためその和文訳を添付してください。
- ⑤ 文献の引用に関しては原則として以下の書式に従ってください。
  - ・文中に引用した文献は引用順に番号を付け、文末に参考文献としてまとめる。文中においては片括弧を付けたアラビア数字で右肩に示す。  
例) \*\*\*\* \*<sup>1,2)</sup>, \*\*\*\* \*<sup>4-6)</sup>.
  - ・引用文献の書き方は雑誌の場合、著者、題目、雑誌名、巻、ページ、発行年次とし、巻の後に:をつける。筆者は全員記載する(例1、例2)。単行本の場合は著者、書名、引用した章などの題目、ページ、(欧文の場合発行場所)、発行所、発行年次の順に記載する(例3、例4)。単行本の分担執筆の場合は著者、執筆課題、書名、編者(編者名の後に「編」を入れる。また欧文の場合、書名の前に「In:」を、編者名の後に「ed.」を入れる)、ページ、(欧文の場合発行場所)、発行所、発行年次の順に記載する(例5、例6)  
例1) 三浦 哉, 北川 薫, 石川利寛. トライアスロン競技をシミュレートした際の運動後半にみられる呼吸循環応答の特性. 体力科学 43: 381-388, 1994.  
例2) Kiyonaga A, Arakawa K, Tanaka H, Shindo M. Blood pressure and hormonal responses to aerobic exercise. Hypertension 7: 125-131, 1985.  
例3) 大西正健. 実験でみる生化学. 機能する蛋白質: 92-110, 共立出版株式会社, 1990.  
例4) Nelson DH. The adrenal cortex: Physiological function and disease: 24-47, Philadelphia・London・Toronto: W.B. Saunders Co, 1980.  
例5) 鈴木政登, 伊藤 朗. 運動による利尿状の変化. 図説・運動生化学入門. 伊藤 朗編: 99-110, 医歯薬出版株式会社, 1989.  
例6) Straus E, Yalow RS. Differential diagnosis of hypergastrinemia. In: Gastrointestinal Hormones. Thompson JG. Ed.: 99-113, Austin: University of Texas Press, 1975
- ⑥ 学部・大学院生の論文は指導教員が共同研究者となること。

その他については投稿規定に準じ、また不明な点があれば編集委員にご相談ください。